

The

札幌国際芸術祭2024 連携事業

札幌大通地下ギャラリー  
500m美術館  
Sapporo Odori 500-m Underground Walkway Gallery

Vol.45

第5回  
札幌500m美術館賞  
入選展

キーンミニライ作家  
武内もも  
藤村憲之  
守屋友樹  
現代支部

会期  
2024年  
1月27日(土)  
3月27日(水)

Sapporo Odori 500-m Underground Walkway Gallery Award  
SAPPORO 展  
<http://500m.jp>



さっぽろ市  
02-D05-23-655  
R5-2-492

【会場】札幌大通地下ギャラリー500m美術館 札幌市中央区大通西1丁目-大通東2丁目(札幌市営地下鉄大通駅と地下鉄東西線バスセンター前駅間の地下コンコース)  
【時間】7:30-22:00 【主催】札幌市 【企画運営】CAI現代芸術研究所/CAI03(有限会社クント)、一般社団法人PROJECTA 【連携】札幌国際芸術祭実行委員会

## 開催概要

500m美術館では現代アートの作品プランおよび企画プランのコンペティション「500m美術館賞」を毎年開催しています。第11回目となる500m美術館賞は、キンミライガッキ現代支部、武内もも、藤村憲之、守屋友樹の4組が入選しました。2024年1月27日(土)から4組による500m美術館賞入選展を開催します。展覧会初日には実際の作品展示による審査でグランプリを決定し、授賞式とトークを行います。



詳しくはwebサイトをご確認ください。

## 第11回500m美術館賞グランプリ授賞式+トーク

日時:2024年1月27日(土) 16:00~

札幌文化芸術交流センター SCARTS 2階 [SCARTSスタジオ]  
(札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ)

- ゲスト審査員 木村 絵理子(弘前れんが倉庫美術館 副館長兼学芸統括)
- 審査員 三橋 純予(北海道教育大学岩見沢校美術文化専攻教授)  
吉崎 元章(本郷新記念札幌彫刻美術館館長)
- 特別審査員 小川 秀明(札幌国際芸術祭2024ディレクター)

Kinmirraigakki  
キンミライガッキ現代支部



「Compose◇Cell」2022年~

2018年頃始動。「時空間」と「楽器」をテーマに、メカトロニクス、科学、身体研究といった多分野の技術を組み合わせ、全く新しい楽器「キンミライガッキ」を開発するSFカンパニー型アートプロジェクト。時間渡航をテーマにしたキャラクター達の元、キンミライガッキ製品の展示、販売、ライブ、ワークショップ等を実施中。近年では、自動演奏楽器を用いたLIVE映像作品が2021京都国際映画祭グランプリ、AR技術を用いた楽器作品がNEWVIEW AWARDS 2022にてULTRA SO SESSION Prizeを受賞、自動演奏楽器を自律生命化するプロジェクト「Compose◇Cell」がADAA2023で優秀賞など、幅広い分野に活動領域を拡げている。 <https://www.kinmirraigakki.com>

# 入選

1997年生まれ、2021年京都精華大学芸術学部陶芸コース卒業。

陶芸と人、その周辺で同時に起こりうる複数の時間や身体のある方について関心を持ち、暮らしにまつわる人やもの、風景や現象を起点に、陶芸の素材に由来する特性や焼成による変化を重ね合わせた作品を制作・発表する。近年の主な発表に芸術祭「MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館」(奈良県吉野町/2023)、個展「待つ身体、眠る身体」(金沢市民芸術村アート工房、石川/2022)がある。また、2016年よりレトロニムに所属。演出家・俳優と協同し、表現分野の垣根を越えた演劇の場について、パフォーマンスや展覧会、団体誌の発行などを通して発表している。

美術家

藤村 憲之

Fujimura Noriyuki

「呼吸する水郡線」2022年



人間と風景の関係をテーマに近年は生体情報を使った作品を制作。特に現代の人工的な風景、動物などの生態系を媒介にした繋がりや感覚を追求している。2023年は中之条ピエンナーレ(群馬県)に参加。2022年は茨城県大子町での奥久慈アートフィールドにて「呼吸する水郡線」を制作し、その土地に関わる人々の呼吸データをもとに地域を照らす作品を制作してきた。2001年より文化庁派遣芸術家在外研修員、ポーラ美術振興財団在外研修員として米国カーネギーメロン大学客員研究員として活動後、企業でデザインと技術に携わったのち、2016年より制作を再開。 <https://www.noriyufujimura.com>

Takeuchi Momo

武内 もも 美術家

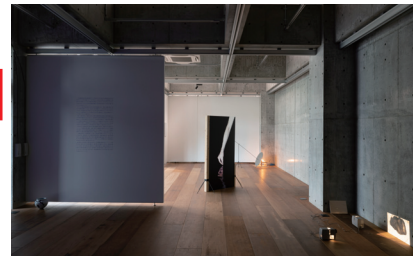


「山頂記念」2023年 photo by Haruka Oka

Moriya Yuki

守屋 友樹 美術家/写真家

「蛇が歩く音」2012年~



1987年生まれ、北海道出身。2010年に日本大学芸術学部写真学科を卒業。写真の古典技法や古写真に関する歴史を学び、実地調査で過去と現在を重ね見る体験をする。かつてあった景色や物、出来事、時間などを想像する手立てとして不在や喪失をテーマに制作を行っている。主な展覧会に2022年「すべてしるべ 2022 #01「蛇が歩く音」」(Gallery PARC、京都)、2020年「影を刺す光-三嶽伊紗+守屋友樹」(京都芸術センター)、2019年「きりとりめでると未然の墓標(あるいはねこ動画の時代)2019-2020」(パーブルームギャラリー、神奈川)など。 <https://yk-mry.com/>

ご来場いただいた方を対象にWEBアンケートを実施しております。今後のより良い企画運営のため、ご協力をお願いいたします。



●回答方法 / スマートフォンやパソコンを使って下記URL又はQRコードからアクセスしご回答ください。

札幌市公式HP ホーム > 教育・文化・スポーツ > 文化・芸術 >

札幌市所管の文化施設について(指定管理者制度など) > 札幌大通地下ギャラリー「500m美術館」

[https://www.city.sapporo.jp/shimin/bunka/500mbijutukan/2023\\_questionnaire500m.html](https://www.city.sapporo.jp/shimin/bunka/500mbijutukan/2023_questionnaire500m.html)